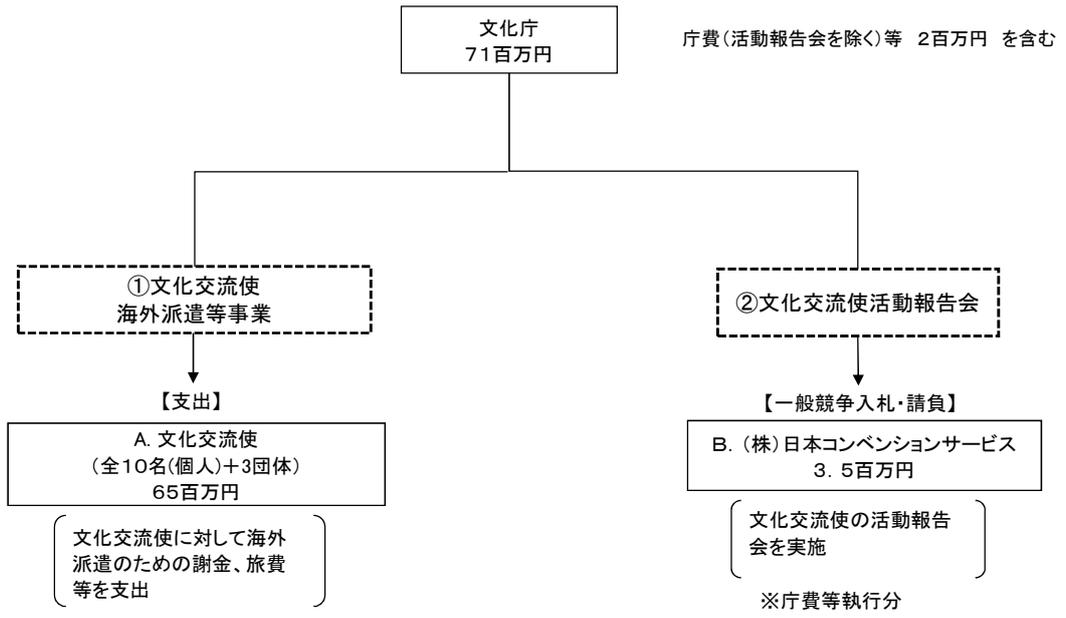


平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	芸術家・文化人等による文化発信推進事業 一文化庁「文化交流使」の派遣等一		担当部局庁	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度～終了年度未定		担当課室	長官官房国際課		国際課長 佐藤 透		
会計区分	一般会計		政策・施策名	XⅢ 文化による心豊かな社会の実現 XⅢ-3 日本文化の発信及び国際文化交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第15条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	トップレベルの文化人等が海外において各文化交流使の創意に満ちた日本文化紹介活動を展開することにより、我が国の文化的イメージの向上と諸外国との国際文化交流の推進に努めるとともに、文化人や芸術家間のネットワーク形成を強化する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①我が国の文化人、芸術家・芸術団体等を一定期間、文化庁「文化交流使」に指名し、その専門分野に関する実演、講演会、講義などを海外で実施することにより、日本文化を広く海外に紹介する。 ②文化交流使活動報告会を実施。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	100	83	76	72	102	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	100	83	76	72	102	
	執行額	75	45	71				
執行率(%)		74.8%	54.7%	93.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	我が国の文化的イメージの向上と諸外国との国際文化交流の推進、及び文化人や芸術家間のネットワーク形成強化については、短期的な目標達成ではなく、中長期にわたり継続して派遣していくことで築き上げられるものであるため、成果がすぐに現れるものではなく、定量的な指標を設定することは困難である。但し、参考指標として文化交流使が任意で行うアンケート調査や活動報告書により、短期的な成果を推察することはできる。			達成度	%			
	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
文化交流使の指名数及び派遣地域数とする。		指名数・派遣地域数		16・3 (22・3)	12・3 (16・3)	13・3 (16・3)	— (15・3)	
単位当たりコスト	5.5(百万円/指名数)		算出根拠	平成24年度執行額71百万円/指名数13				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	24百万円	0.2百万円					
	職員旅費	0.1百万円	0.1百万円					
	委員等旅費	0.1百万円	0.1百万円					
	文化人等派遣旅費	14百万円	12百万円					
	庁費	0.005百万円	0.005百万円					
	文化芸術振興委託費	34百万円	90百万円					
	計	72百万円	102百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。				

事業所管部局による点検													
	項目	評価	評価に関する説明										
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、多様な日本文化を海外に発信すべく、第一線で活躍する文化人、芸術家を海外へ派遣する事業であり、国が実施すべき事業である。										
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○											
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○											
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	本事業は、外務省、国際交流基金と連携し、在外公館や海外事務所を通じて諸外国における日本文化のニーズ調査を行った上で、文化交流使の選定を行っている。また、文化交流使への支出費目については、事業実施要項及び事業実施細目に定め、事業実施に必要なものに限定している。										
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-											
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○											
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-											
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○											
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-												
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	本事業は、在外公館や海外事務所を通じて諸外国における日本文化のニーズ状況を調査した上で、分野や派遣国を厳選し、文化交流使の派遣を決定している。また、個別事業の実施に当たっては、共同で事業を実施する等、効率的かつ効果的な執行に努めている。指名を予定していた文化交流使に辞退されたことにより、アウトプット(指名者数)は当初予定よりも減じたが、アウトカムは前年度並みの成果を達成した。なお、活動を終えた文化交流使による公開フォーラムを例年実施しており、文化交流使としての活動成果をイベント、報告書、動画配信等により普及している。										
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○											
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○											
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		事業番号	類似事業名	所管府省・部局名						
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名								
点検結果	<p>上記、評価に関する説明にも記載したとおり、事業実施の必要性は高く、資金投入の合理性を確保している。また、国庫支出のあり方についても、外務省や国際交流基金との間で重複がないように各機関で情報共有をするとともに、文化交流使に旅券等の証ひょう関係書類の提出を求め、その内容の突合を行うことで適正性を担保している。</p> <p>また、平成23年度不用が発生したが、平成24年度においては、スケジュールの早期化等により不用率を大幅に改善した。</p>												
外部有識者の所見													
外部有識者による点検対象外													
行政事業レビュー推進チームの所見													
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点: この事業は、我が国の文化的イメージの向上と諸外国との国際文化交流の推進を図るため、文化交流使を海外へ派遣するものであり、予算執行状況及び長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: 本事業は長期にわたり実施しているが、平成23年度決算において不用額が生じ、平成24年度において当初予算の縮減を行うとともにスケジュールの早期化等による是正を行っているところ。今後とも積算の不断の見直しなどを通じて引き続きコスト削減に努めるべきである。</p>												
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況													
縮減	<p>本事業については、予算執行の実績を的確に把握するとともに、事業に必要な費目及び旅費等の積算の見直しを行い、概算要求に▲24百万円反映した。</p>												
備考													
<p>文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)(平成23年2月8日閣議決定) http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html</p>													
関連する過去のレビューシートの事業番号													
	平成22年	0486	平成23年	0408	平成24年	0433							

※平成24年度実績を記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	文化交流使(個人A)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	13	—	—
2	文化交流使(個人B)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	13	—	—
3	文化交流使(個人C)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	8	—	—
4	文化交流使(個人G)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	7	—	—
5	文化交流使(個人D)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	5	—	—
6	文化交流使(個人I)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	4	—	—
7	文化交流使(個人F)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	3	—	—
8	文化交流使(個人J)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	3	—	—
9	文化交流使(個人E)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	2	—	—
10	文化交流使(個人H)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	2	—	—

※謝金及び旅費であるため「入札者数」「落札率」は「—」としている

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日本コンベンションサービス	文化交流使の活動報告会の実施	3	1	100